

## トーランスの交通について

飯田 さくら (高校2年)



私はトーランスで3週間過ごして、交通事情が日本と違う点がたくさんあると感じたので、交通についてまとめてみようと思いました。

まず移動手段としては、日本では車の数と同じくらい自転車を使う人が多いと思います。しかし、トーランスでは、ほぼ全員の人が近くへ行くにも車を使っていました。だから車がないと生活できないと言っていました。日本では自転車に乗っている人を見かけるのは当たり前のことですが、トーランスでは珍しくて違和感があるほどでした。ホストファミリーになぜ自転車に乗る人が少ないのか聞いてみると、車のスピー

ドが速くて危ないからアメリカ人はあまり自転車に乗りたがらないのだと言う事でした。

次に、車についてです。アメリカの車は左ハンドルで、道路も右側通行で日本とは正反対です。一家庭につき、車を数台持っているのは普通のことです。私の第一ホストファミリーの隣人は車を11台持っていると言っていました。ほとんどの家は数台すべての車が駐車場には入りきらないので、路上駐車をしていました。トーランスでは禁止場所以外での路上駐車は普通なので、私のホストファミリーは駐車場に止めるより、近くの路上によく駐車していました。

車の免許は16歳から取得できるそうで、トーランス派遣生のなかにも車を運転している子がいました。ロサンゼルスでは運転免許取得が日本より全く簡単だそうで、運転免許センターへ行き筆記、実技試験に合格すれば免許がもらえるそうです。オリエンタルモーターで働いている日本の方もなにも勉強しないで受験したにもかかわらず、あっさり合格したとおっしゃっていました。

そして一般道路ではだいたい片側車線が3レーンあります。だから、両方向の道で約6レーンあるところがほとんどです。トーランスの道はとても広く、車のスピードもとても速いです。一般道路では時速56~72kmが基本となっているそうです。そして私がびっくりしたことは、赤信号でも右折はしていいことです。日本では必ず信号表記に従って曲がるので、日本人とアメリカ人の性格の違いをこういうところでも感じました。そしてアメリカには無料の高速道路のフリーウェイがあり、郊外など少し治安の悪い地域を避けるために、なるべく目的地近くまでフリーウェイを使って移動すると言っていました。片側4レーンくらいあり、スピードリミットは時速104~128kmくらいでとても速く、入るときはとても勇気がいりそうだし、車線変更も大変そうだなと感じました。でも無料という点ではみんな利用しやすくいいなと思いました。フリーウェイとハイウェイの違いは、フリーウェイは高速道路の入り口があり、入るとほかの車のスピードに合うようにコントロールされている道ですが、ハイウェイは入り口というのが特になく、いつの間にか大きな道になっているという道です。ハイウェイは郊外や田舎のほうによくあるそうです。

最後に公共交通機関のバスや電車についてです。私たちがトーランス滞在中に移動で乗っていた市のバスは、日本のバスと比べて座席が固かったです。ロサンゼルス市の電車は、不便であまりきれいではないと聞きました。私たち日本人は毎日のように電車を利用しますが、ロサンゼルスではホームレス、薬物を使っている人などがよく利用するそうで、閉じ込められた空間にいるのは治安と衛生面で心配なので乗らないそうです。

アメリカで過ごした後に日本の道路を見るととても狭く、車のスピードもとても遅く感じました。今となってはアメリカの広い道路とスピードのある運転が恋しいです。しかし、日本の公共交通機関は充実していて、安心安全で便利だなと気づくことができました。